

国立国語研究所学術情報リポジトリ

はじめに

著者	木部 暢子
雑誌名	愛知県木曽川方言調査報告書 : 日本の消滅危機言語・方言の記録とドキュメンテーションの作成 : 方言の記録と継承による地域文化の再構築
発行年	2019-03-20
URL	http://doi.org/10.15084/00002440

はじめに

国立国語研究所では、2016年に共同研究プロジェクト「日本の消滅危機言語・方言の記録とドキュメンテーションの作成」（人間文化研究機構・機関拠点型基幹研究プロジェクト）と「方言の記録と継承による地域文化の再構築」（人間文化研究機構・広領域連携型基幹研究プロジェクト「日本列島における地域社会変貌・災害からの地域文化の再構築」）をスタートさせ、各地の方言の収集と記録を行っています。このプロジェクトの前身は、2010年に始まった「消滅危機方言の調査・保存のための総合的研究」（2010年～2015年）です。そのときからの調査を含めると、これまで、沖縄県宮古島・久米島、鹿児島県喜界島・与論島・沖永良部島、東京都八丈島、島根県出雲・隠岐の島、宮崎県椎葉村、石川県白山市白峰、愛知県一宮市木曾川、青森県むつ市の12の地域で合同調査を行なってきました。本書は、そのうちの木曾川方言調査（2017年8月）の調査報告書です。

調査の折りには、たくさんの方にお世話になりました。お忙しいなか、木曾川商工会館まで足を運んでくださり、親切に方言を教えてくださいました方々に深く御礼申し上げます。みなさんのおかげで、このような報告書を作成することができました。深く感謝申し上げます。

この報告書の内容は、木曾川方言全体から見ると、ごく一部のわずかなものにすぎませんが、方言の研究や記録・保存の資料として、少しでも多くの方々に使っていただければ幸いです。なお、この報告書は国立国語研究所ホームページの上記プロジェクトのページでPDF版を公開しています。こちらもぜひ、ご覧ください。

2019年3月15日

人間文化研究機構 国立国語研究所 木部 暢子